

背景

近年の市場のグローバル化に伴い海外市場を視野に入れた企業や研究機関には、国際規格に従うだけでなく企業戦略として国際規格開発に積極的に関わることが求められています。JMACはビジネスマッチングと戦略的国際標準化を通してバイオビジネスを活性化することをめざす業界団体です。バイオ業界の国際市場における日本企業の躍進を後押しするべく、国際標準化に関する受託事業や会員企業参加による共同研究開発を行っています。以下にJMACを介した国際標準化の流れを紹介します。

エキスパートとJMACの連携体制

会員企業、研究機関

専門知識や技術を有するエキスパート



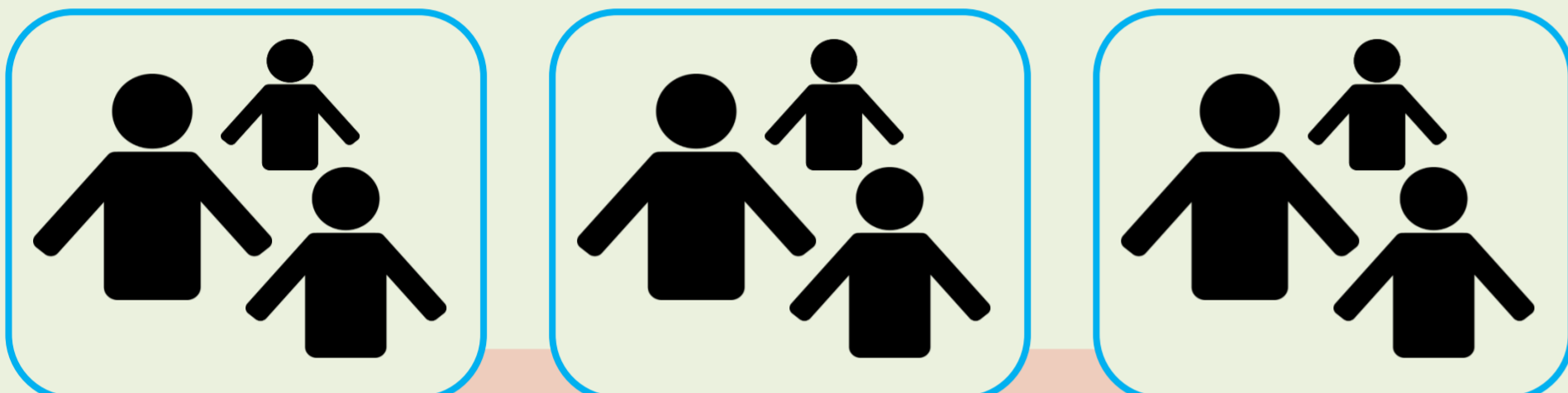
各国内審議団や国内企業と連携し、ISO規格立案と実証実験の両方を担う境界組織

- ① パートナーシップ形成と標準化準備
 エキスパートとJMACが共同で実証実験を実施し、JMACを介して技術の国際標準化を目指す

- ② ISO規格案の作成と提案
 JMACはエキスパート・メンバーズと共に規格案を作成



エキスパート・メンバーズ



- ⑤ 国際標準が研究開発や産業に反映される

- ⑥ 国際標準に則った製品供給をすることで、国際市場において有利に展開！

No.	会議体	概要	活動内容
ISO 16578	TC 34/SC 16	マイクロアレイに関する定義と要求事項	ISO発行に成功、JMACがスキームオーナー、定期見直し予定
ISO/NP 21474	TC 212	Multiplex解析のための核酸品質	JCCLSと共同で原案作成中
ISO/DIS 20813	TC 34/SC 16	肉種判別	原案作成中
ISO/CD 20688	TC 276/WG 3	合成核酸の品質評価	ISOに先駆けコンソーシアム標準を制定し書籍化、原案作成中
	TC 212/WG1	先端技術に対するISO 15189の適用に関するガイドライン	原案作成中
ISO/PWI 23366	TC 229/WG 5	ナノテクノロジー	原案作成中
	TC 276/WG 3	ゲノム標準物質	提案予定
	TC 34/SC 16	高感度遺伝子検出分野	提案予定

JMACはISO専門委員会、分科委員会の国際会議に参加し、日本発の技術を国際標準規格として提案

- ④ 国際標準発行



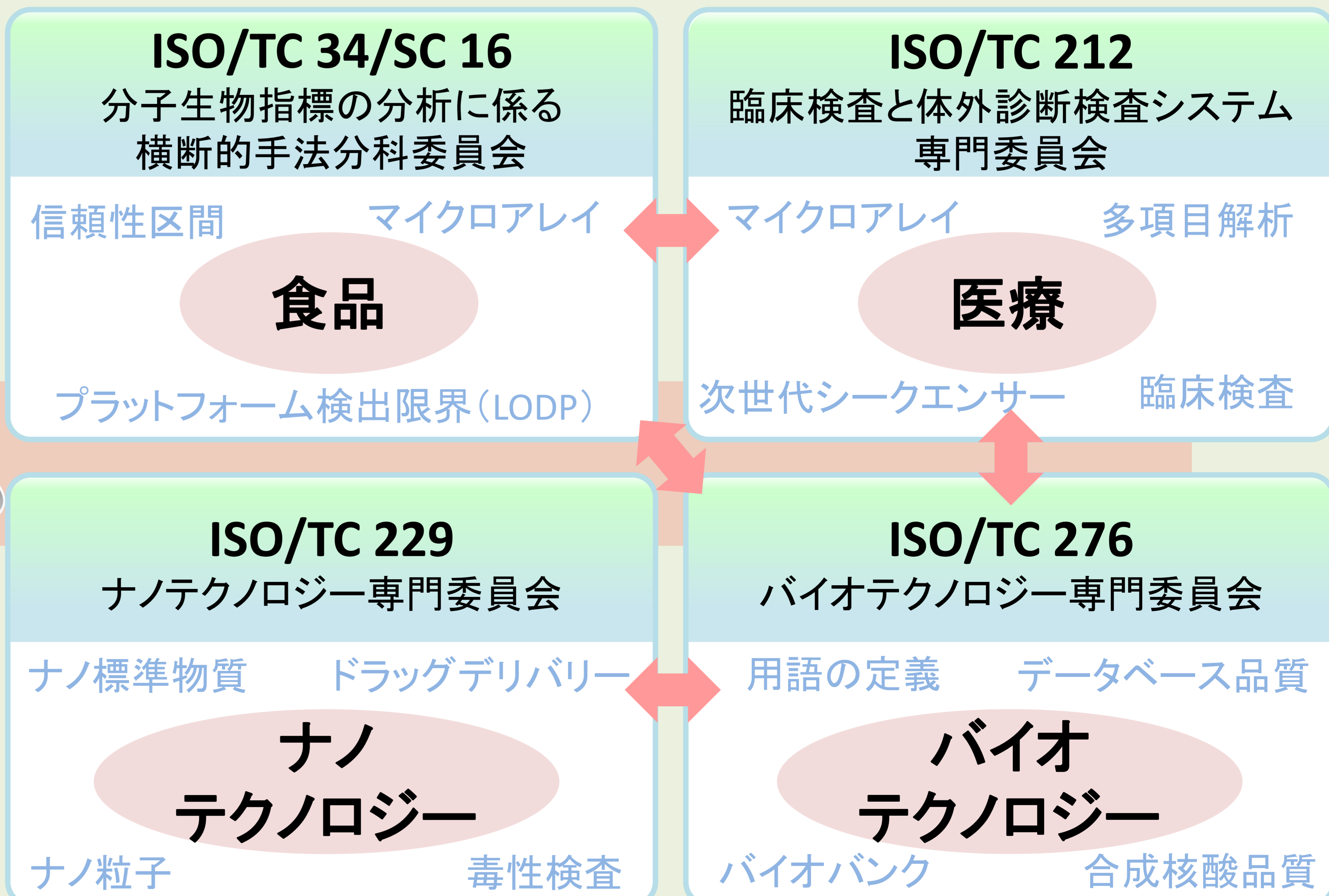
JMACはISO専門委員会、分科委員会の国際会議に参加し、審議や投票に対応

- ③ 国際規格の策定

International Organization for Standardization (ISO)
 (国際標準化機関)

国際標準 (IS) を制定・発行する国際機関。定期的に国際会議が開催され、審議や投票が行われる。

JMACが携わる分野のISO専門委員会



↔ : ISOのInternal liaison (情報や意見を交換するための内部連携)